



## 入船基さん

Moroi Irifune

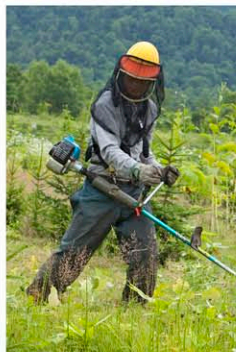
移住地／中川町（大阪府出身）  
オーストラリアやカナダへ語学留学の経験を持ちながら林業に従事する個性派の移住者。田舎で仕事をしたいと林業を選び、2010年に中川町へ移住。週末は地元居酒屋でお酒を飲んだり、近郊の名寄市や旭川市までドライブを楽しんでいる。

自分の大切な時間の大半を仕事で占めるからと選んだ林業は、ストレスを感じない、魅力的な仕事だった。

# 危険な二面もあるけれど 林業は変化に富んだ飽きない仕事。

## 田舎で山の仕事をするために インターネットで見つけた中川町

外務省で翻訳の仕事をするために、大学を卒業後ワーキングホリデーを利用してオーストラリアに渡ったり、カナダに語学留学などの経験を積みました。日本に戻ってからはアルバイトをしながら2年間、公務員になる勉強を続けましたが、残念ながら試験には合格できませんでした。そんなことがあったからなのか、無性に田舎で仕事がしたいと思い林業を目指すようになりました。和歌山県の「林業就業支援講習」でチェーンソーや刈り払い機を使う資格を取り、就職活動はインターネットのハローワークを活用しました。現在勤めている北海道中川町の「遠藤工業」が通年雇用を条件に従業員を募集していることを知ったので、すぐに電話をかけました。会社側からは「一度中川を見に来てから決めた方がよいのでは」と言われましたが、北海道に行く時間を持てなかったこともあり電話で就職を決めました。移り住んだのは2010年の4月ですが、面接と就職初日が同じ日という珍しい経験をしましたが、こんなおもしろさも中川町ならではのようです。人間関係も良く、毎日楽しく働いています。



夏は苗木の除草刈りが主な仕事

## 林業は肉体的にはきついけれど ストレスを感じない魅力的な仕事。

仕事は朝の7時から夕方4時までで、送り迎えもしてくれます。夏は沢を登り苗木の下草刈り、冬は造材の切り出しが主な仕事です。林業は肉体的にきつく、危険と背中合わせの仕事ですが、エゾシカやリス、キタキツネなどの野生動物と出会うなど、一年を通して変化に富んでいるため飽きのこないこと、ストレスを感じないことが大きな魅力です。「緑の雇用※」という林業の若手育成制度を利用し、特殊な機械の資格を取る講習会などにも積極的に参加しています。



ジギスカンで懇親会

自宅は町営アパートを借りていますが、市街地にあるために雑誌で見る田舎暮らしとは違い、商店や居酒屋などが近くにあり、全く不便を感じません。中川で手に入らないものは、車で片道1時間30分の名寄市で調達できます。冬は除雪作業があることと、滑るので車の運転は練習が必要ですね。

※「緑の雇用」とは明日の森林の担い手を育てる林野庁の事業です。詳しくは <http://www.ringyou.net/index.php> をご覧ください。

【中川町からの一言】中川町は、まちのいたるところで、アンモナイトなどの化石が多く眠り、春から秋にかけては釣りやカヌーなどを満喫でき、美味しい空気と新鮮な山菜などを堪能することのできる四季折々に喜びを感じる町です。

山一面で育てられている苗木を守るため  
背の高い下草が刈られてゆく